

日本赤十字社山口支部第二回社員總會次第書

明治三十四年四月三十日山口中學校前運動場ニ於テ開設ノ事

午前第九時社員招待員等一同式場ニ參着ノ事

午前第九時三十分(第一煙火三發ノ合圖ヲ以テ)諸員一同式場ニ
整列ノ事

午前第十時(第二煙火三發ノ合圖ヲ以テ)支部長御先導 總裁

宮殿下御臨場(此時奏樂)一同最敬禮

支部副長 兩陛下御眞影奉拜ノ旨ヲ宣言ス

支部長御眞影ノ屏ヲ開ク(此時奏樂君ヶ代)一同最敬禮

支部長明治廿七八年戰役ニ際シ本社ニ賜ハリメル勅語令旨ヲ捧

讀ス一同最敬禮

支部長御眞影ノ屏ヲ復ス(此時奏樂君ヶ代)一同最敬禮

支部長職員名簿及社員表ヲ殿下ニ奉呈ス

總裁宮殿下御諭旨ヲ賜フ(此時奏樂)一同最敬禮

支部長答辭ヲ上ル

支部副長事務成績及會計ノ報告ヲ爲ス

支部長告辭

社長祝詞(演說)

社員總代祝詞

支部長功勞并ニ篤志者ニ特別社員章御親授アラセラル、旨ヲ宣
言ス

本社幹事特別社員推薦者ノ氏名ヲ呼ビ御前ニ進マシム

總裁宮殿下特別社員章御親授次テ社長推薦狀ヲ交付ス

(此間奏樂)

支部長

天皇皇后兩陛下 皇太子全妃兩殿下 總裁宮殿下萬歳ヲ奉

祝シ併セテ日本赤十字社萬歳ヲ唱フルヲ宣言ス

天皇 皇后兩陛下萬歳 三唱

皇太子 皇太子妃兩殿下萬歳 三唱

總裁宮殿下萬歳 三唱

日本赤十字社萬歳 一唱

(右何レモ支部長首唱總員和唱)

支部長閉會ノ旨ヲ宣言ス

支部長御先導 總裁宮殿下御退場

(此時奏樂)一同最敬禮

本社有功章佩用者及名譽社員特別社員
各位ハ芳名ト共ニ其肖像ヲモ永ク本社
ニ保存可致筈ニ候間右表章御佩用アル
寫眞一葉至急御贈付被下度候也

明治卅四年四月三十日

日本赤十字社

拜啓陳者來ル四月三十日 總裁宮

殿下ノ台臨ヲ仰キ當支部第二回社員
總會開設候條萬障御操合御參會相成
候様希望致候尙準備ノ都合有之候ニ
付御參會ノ有無同月十五日迄ニ所管
分區委員へ御通知相成度別紙總會次
第書并ニ參會者心得書相添此段御案
内申進候也

明治三十四年三月廿八日

日本赤十字社山口支部長

古澤 滋

本間源三 殿

社員參會者心得

- 一 總會當日參會ノ社員ハ男子ハ通常禮服(フロック・コート又は羽織袴代用可ナシ) 婦人ハ白襟紋付着用ノ事

但制服アルモノハ制服着用ノ事

- 一 社員ハ必ス社員章佩用ノ事

- 一 式場ヘハ 總裁宮殿下台臨被爲在ニ付時限ニ後レサ
ル様御參會ノ事

- 一 受付掛ハ會場入口ヘ郡市別ニ設ケアルニ付會場ヘ參
着次第其掛員ニ案内狀ヲ示シテ入場券ヲ受取り御入
場ノ事

但特別社員及婦人社員ノ受付掛ハ別ニ之ヲ設ク

- 一 式後會場ニ於テ折詰酒盃ヲ交付スルニ付入場券ト引
替ニ御受領ノ事

但特別社員ヘハ別席ニ於テ交付ス

- 一 總會當日衛生隊ノ演習ニ附隨シ當支部養成ノ看護員
ヲ召集シ救護演習施行ニ付隨意御參觀ノ事

- 一 餘興トシテ晝夜煙火ヲ打揚ケ午後七時ヨリ赤十字幻
燈會ヲ開クニ付隨意御觀覽ノ事

- 一 總會掛員ハ其識別ニ便スル爲メ赤色總ヲ胸間ニ附着
スルニ付諸事其掛員ニ御申出ノ事

本間源三郎氏

日本赤十字社山口支部吉
敷郡委員部 嘉川村
分區委員ヲ委囑ス

明治廿九年八月三日

日本赤十字社山口支部長

正五位勲三等大浦兼武



拜啓陳者來ル四月三十日 總裁宮

殿下ノ台臨ヲ仰キ當支部第二回社員
總會開設式場ニ於テ貴殿へ特別社員
章御親授アラセラルヘキ御都合ニ有
之候條萬障御操合御參會相成候様希
望致候萬一御差支之節ハ代理者被差
出候様致度別紙總會次第書并ニ參會
者心得書相添此段御案内申進候也

明治卅四年三月廿八日

日本赤十字社山口支部長

古澤 滋

特別社員

本間源三郎 殿

日本赤十字社山口支部第二回社員總會次第書

明治三十四年四月二十日山口中學校前運動場ニ於テ開設ノ事

午前第九時社員招待員等一同式場ニ参着ノ事

午前第九時三十分第一禮火ニ發シ合圖ヲ以テ諸員一同式場ニ

整列ノ事

午前第十時第二禮火ニ發シ合圖ヲ以テ支部長御先導 總裁

宮殿下御臨場(此時奏樂)一同最敬禮

支部副長 兩陛下御眞影奉拜ノ旨ヲ宣言ス

支部長御眞影ノ扉ヲ開テ(此時奏樂君ケ代)一同最敬禮

支部長明治廿七八年戰役ニ際シ本社ニ賜ハリズル勅語令旨ヲ捧

讀ス一同最敬禮

支部長御眞影ノ扉ヲ復ス(此時奏樂君ケ代)一同最敬禮

支部長職員名簿及社員表ヲ殿下ニ奉呈ス

總裁宮殿下御諭旨ヲ賜フ(此時奏樂)一同最敬禮

支部長答辭ヲ上ル

支部副長事務成績及會計ノ報告ヲ爲ス

支部長告辭

社長祝詞(演說)

社員惣代祝詞

支部長功勞并ニ篤志者ニ特別社員章御親授アツセサル、旨ヲ宣

言ス

本社幹事特別社員推薦者ノ氏名ヲ呼ビ御前ニ進マシム

總裁宮殿下特別社員章御親授次ヲ社長推薦狀ヲ交付ス

(此間奏樂)

支部長

天皇皇后兩陛下 皇太子全妃兩殿下 總裁宮殿下萬歲ヲ奉

祝シ併シテ日本赤十字社萬歲ヲ唱フルヲ宣言ス

天皇 皇后兩陛下萬歲 三唱

皇太子 皇太子妃兩殿下萬歲 三唱

總裁宮殿下萬歲 三唱

日本赤十字社萬歲 一唱

(右何レモ支部長首唱總員相唱)

支部長閉會ノ旨ヲ宣言ス

支部長御先導 總裁宮殿下御退場

(此時奏樂)一同最敬禮

社員參會者心得

一 總會當日參會ノ社員ハ男子ハ通常禮服(フロック・ジャケット又ハ羽織袴代用妨ケナレ)婦人ハ白襟紋付着用ノ事

但制服アルモノハ制服着用ノ事

一 社員ハ必ス社員章佩用ノ事

一 式場ヘハ 總裁宮殿下台臨被爲在ニ付時限ニ後レサル様御參會ノ事

一 受付掛ハ會場入口ヘ都市別ニ設ケアルニ付會場ヘ參着次第其掛員ニ案内狀ヲ示シテ入場券ヲ受取り御入場ノ事

但特別社員及婦人社員ノ受付掛ハ別ニ之ヲ設ケ

一 式後會場ニ於テ折詰酒盃ヲ交付スルニ付入場券ト引替ニ御受領ノ事

但特別社員ヘハ別席ニ於テ交付ス

一 總會當日衛生隊ノ演習ニ附隨シ當支部養成ノ看護員ヲ召集シ救護演習施行ニ付隨意御參觀ノ事

一 餘興トシテ晝夜煙火ヲ打揚ケ午後七時ヨリ赤十字幻燈會ヲ開クニ付隨意御觀覽ノ事

一 總會掛員ハ其識別ニ便スル爲メ赤色總ヲ胸間ニ附着ニルニ付諸事其掛員ニ御申出ノ事

日本赤十字社山口支部總會烟火番組

四月三十日

(式場)

五月一日

(香山園)

祝砲 砲
 禮砲式
 禮砲ニ赤十字旗
 水玉黄烟竜ヨリ二度ノ曲
 壽老人
 官女
 柳日光ヨリ黄烟十字
 連璧ニ御多福
 時計
 黄煙菊
 水中ノ金魚
 三煙ノ雷
 壽老人ニ御多福
 夫婦ノ鯉
 雨中分煙ノ曲
 福助ニ末廣
 鶴
 煙星釣四段
 大達覺
 馬
 紫煙雷ニ双竜曲
 時雨傘ヨリ夫婦達覺
 布袋ニ福助
 赤雲雷ニ黄烟竜玉追ノ曲
 狸
 女人
 柳日光ヨリ黄柳ノ曲
 球乗
 雷ニ黄黒變煙竜玉吹
 紫煙中ニ黄煙玉追ノ曲
 以上三十發

打揚人

祝砲 砲
 禮砲式
 禮砲ニ赤十字旗
 分煙砲
 福助
 大鯛
 雷ニ黄煙双竜曲
 鹿鳥
 酒樽
 紫煙中ニ黄煙双竜ノ曲
 柳ニ瓦斯燈
 力士ニ酒樽
 秋ノ景
 二羽鳥ニ多福
 雷ニ黄黒赤煙ノ三煙ノ竜
 大頭
 三段發
 奴風
 紫煙雷
 傘ヨリ球
 二人娘
 五色風玉
 白菊
 戎大黒
 夫婦達覺
 柳玉竜ノ曲
 鳥ノ大鼓乗
 雷ニ黄煙竜ヨリ二度時雨ノ曲
 御多福
 雨中玉追竜ノ曲
 以上三十發

堀山潤作

第 號

通知書

分區委員經由ヲ要ス

一金志向七社志同之夫才七不任
但口才多十成社也之却相首其四足任中ニ寄付

右現金本書ニ添へ 日限リ納入有之度候也

日本赤十字社山口支部

明治 年 月 日

委員長 田村 重介

本島 徳三郎 殿

前書金額正ニ領收候也

明治 年 月 日

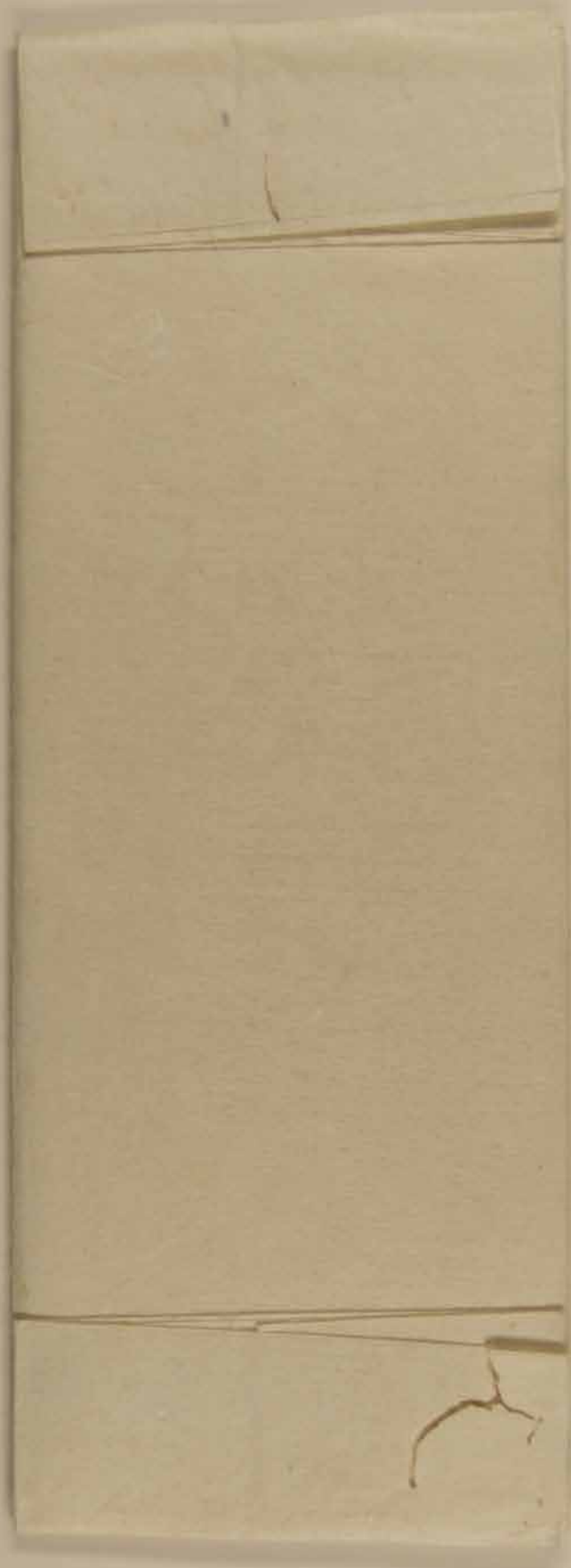
日本赤十字社山口支部

委員長 田村 重介

田村 重介

推薦書

本間源三郎殿



日本赤十字社



爰ニ 本間源三郎氏

本社忠愛ノ主旨ニ協同シ
特ニ社資ヲ補助セラル、ヲ
以テ社則ニ照シ推薦シテ
特別社員ニ列ス

明治廿四年四月三十日



日本赤十字社總裁

大勲位功二級章仁親王



日本赤十字社長

從二位勲等伯爵佐野常民



謝
狀

本間源三郎殿





爰ニ 本間源三郎氏

本社忠愛ノ主旨ヲ協賛シ

金百拾壹圓廿五圓拾錢七厘廿五圓寄贈セラ

ル仍テ本社ニ代リ其厚志

ヲ謝ス

明治卅四年四月廿四日



日本赤十字社總裁

大勲位功二級彰仁親王



日本赤十字社長

從二位勲等伯爵佐野常民





卷之六

折騰暑氣日。遊之。相嘉維斯各法
法。謂。度。智。以。予。保。傳。之。容。年。事。迄。期
相。成。催。本。社。才。十。回。總。合。之。義。以。去。七。月
八。日。九。日。兩。日。內。以。之。東。京。上。野。公。園。博。物
館。指。向。於。之。奉。行。當。日。

會。宗。陸。下。臨。湖。之。物。保。傳。中。主。催。獻。之。
左。記。嘉。之。及。御。通。和。保。向。可。成。御。其。列
相。以。保。標。之。提。名。望。保。次。段。得。實。意
度。此。以。御。度。維。算。人。教。具。

大正十一年七月八日

明治三十四年六月廿日

日本赤十字会本部

青森即着員長庄重行

特別社員

本間 三郎 殿

第ニ項 和管上京又ハ上京中、便宜ナクハ御出立奉
御希望ニテ六月廿日ヨリ限、官邸ニ到達俾探御儀共旨
但期ヨリ專、何カ敷奉ナクハ御志望者ニ者、見做ス

第ニ項 全團員、着、初ハ、行時刺繍上ニ年品ハ時換
ニ可成同ナ時、同色、其奉給、新敷告、外役員
兼奉ヲ施行シ奉石者ニ天眞病候及秋、露、打
刺、陣列、紙覽、但云、外何等、取給、ナク
御志、可成、御系、御、事

第ニ項 各地方、奉列者、各々、奉給、御儀、奉
刺、引、取、金、中、何、奉、給、ナク、奉、給、御、儀、奉
御、志、可、成、御、事

第ニ項 一般、着、服、男子、通、紫、礼、服、(フクロ)
コート、又ハ、羽、織、袴、(女子) (ビロウ、シ、ト、レ、ス)

向禮效... 如事社... 必

元... 解... 平

五項、報... 備上... 來歷... 和... 之... 禮...

新田子

相済時不未大... 福... 應... 假... 條...
特別社員... 據... 為... 併... 本... 年... 五... 月... 中... 有... 官...
... 五... 年... 三... 百... 八... 十... 年... 一... 月... 廿... 日... 迄... 止... 於... 此... 為... 念...
... 以... 申... 進... 假... 也

明治四十二年六月廿日

日本赤十字社出立書

吉野以次郎長息負介

日本赤十字社山口支部書記 櫻井 貞一

特別社員

吉野以次郎

押印今渡口在嘉十字站片左部
 延平司渡口在嘉十字站片左部
 心車渡口在嘉十字站片左部
 城心止心渡口在嘉十字站片左部
 力也心渡口在嘉十字站片左部
 余心渡口在嘉十字站片左部
 船心渡口在嘉十字站片左部
 事心渡口在嘉十字站片左部
 心渡口在嘉十字站片左部

同心十字站片左部

吉野町長官 貴介



本名 德三郎 殿